



# ESCO News Letter

第10巻 第1号

発行日 2021年2月8日

## カベアナタカラダニ —生態に基づく効果的防除—

### 春先になると見かける小さな赤い虫の正体

春先になると、「大量の小さな赤い虫が、工場の外周や外壁を歩いている」「小さな赤い虫が工場内を歩いている」などのお問い合わせを頂きます。その正体は、カベアナタカラダニです。

本種のヒトに対する被害はほとんど報告されていませんが、一方で工場内へ侵入したり、大量に発生して不快感を与えたりするだけでなく、製品に体液が付着し血液に間違われる、といった、製品への混入被害も報告されていま

す。問題になるのは、1年の中でも春先のわずかな発生期間ですが、弊社にも毎年、このカベアナタカラダニに関する駆除対策のご相談を多くいただいています。

近年まであまり研究が進んでいなかった本種ですが、本号では、弊社の実験によって得られた知見を基に、基本的な生態や防除方法についてご紹介しますので、発生シーズンを前にした防除対策にお役立て下さい。



写真：花粉の塊に群がるカベアナタカラダニ

### この号の内容

春先になると見かける小さな赤い虫の正体

どんな虫？

カベアナタカラダニは暗所で産卵

カベアナタカラダニの防除のタイミング

殺虫剤で殺虫、クリアフォーマーで行動阻害

カベアナタカラダニの効果的防除

### どんな虫？

カベアナタカラダニは、ケダニ亜目、タカラダニ科に属します。毎年3月頃から屋外に現れ、梅雨に入るといなくなります。幼虫、成虫ともに赤橙色であり、幼虫の胴長は約0.5mm、成虫は1-2mmです。赤いダニとしては、他にハダニ類、ハリクダニ類、ハモリダニ類が知られていますが、屋外で多数徘徊するのはカベアナタカラダニだけです。



写真：カベアナタカラダニ（成虫）

実験  
しました  
①

### カベアナタカラダニは暗所で産卵

これまでの研究によって、カベアナタカラダニの主な産卵場所は、壁面の隙間や割れ目であることが報告されています<sup>(1)</sup>。そこで、産卵時期にあたる6月頃に屋外を歩くカベアナタカラダニを採取し、自然日長条件下と全暗条件下にそれぞれ置いてみると、全暗条件

下でのみ産卵が見られ、自然日長条件下では産卵せず死滅することが分かりました。また、全暗条件下では、ほとんど動かないことも観察できました。以上より、本種は産卵時期になると光の当たらない場所へ移動し、産卵することが示唆されました。

(1) 参考文献：

カベアナタカラダニの生態と防除 -新たな知見を加えて-、大野正彦、Pest Control TOKYO、No. 70

### 彩都総合研究所 T-CUBE

関西イノベーション国際戦略総合特区の認定を受け、大阪府茨木市に建設しました。画期的な施設コンセプトを持つこの拠点を活用することで、新技術の開発、より精度の高い分析サービスやこれまでにない教育サービスをご提供します。

研究開発センター

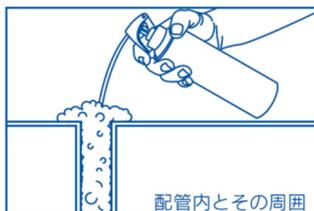
研修センター

分析センター



業務用

洗浄&消臭  
クリアフォーマー  
(殺虫剤不使用)



配管内とその周囲



排水溝とその周囲

クリアフォーマーは、泡状の界面活性剤を使用したスプレー缶タイプの洗浄&消臭剤です。界面活性剤の泡が処理面の汚れ、残渣や虫などを包み込んで除去します。

クリアフォーマーに含まれる界面活性剤が、カベアナタカラダニの行動を阻害することを実験によって確認しました。

## カベアナタカラダニの防除のタイミング

カベアナタカラダニは単為生殖で繁殖し、一頭が10から30個ほどの卵を産むため、次世代の発生を阻害するためにも、速やかな防除が望まれます。

カベアナタカラダニは産卵時期に入っ

てしまうと、暗所へ移動し、産卵することが示唆されたため、屋外を徘徊しているのを発見し次第殺虫することで、次世代発生を阻害できると考えられます。そこで、次項のような実験を行いました。

実験  
しました  
②

### 殺虫剤で殺虫、クリアフォーマーで行動阻害

現在までにカベアナタカラダニ対策として使用されている複数の殺虫剤や界面活性剤を主成分とした洗浄・消臭剤クリア

フォーマーを用いて、弊社彩都総合研究所内で、殺虫効果と行動阻害効果を確認しました。

表. 実験結果一覧表

薬剤名	希釈倍率	行動阻害	殺虫		
			当日	1日後	
殺虫剤	ムシブロック塗料 <sup>1)</sup>	原液	×	○ (5時間で全滅)	○ (6時間で全滅)
	虫コロアース スーパージェット <sup>2)</sup>	原液	×	○ (2時間で全滅)	○ (2時間で全滅)
	エクスマン乳剤「SES」 <sup>3)</sup>	10倍	×	○ (2時間で全滅)	○ (2時間で全滅)
	プロコートTP <sup>4)</sup>	2倍	×	○ (2時間で全滅)	○ (6時間で全滅)
洗浄・消臭剤	クリアフォーマー <sup>5)</sup>	原液	○	×	×

#### 各薬剤のメーカー/有効成分：

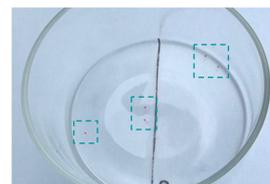
1) アース製薬(株)/ピレスロイド系化合物、2) アース製薬(株)/d-T80-フタルリン・ピレトリン・ピフェントリン(ピレスロイド系)、3) 住化エンバイロメンタルサイエンス(株)/ベルメトリン、4) 住化エンバイロメンタルサイエンス(株)/ピレスロイド系化合物、5) アース製薬(株)/界面活性剤

#### 実験方法：

腰高シャーレ底半面に薬剤を塗布し、非塗布面にタカラダニを置き、塗布面への移動と殺虫効果を観察した。薬剤は、アース環境サービス(株)がタカラダニ防除に使用したのから選定した。

#### 写真：

腰高シャーレでの実験の様子  
中央線右側が薬剤塗布面(左側はコントロール)、カベアナタカラダニ数：5頭



表に示す4種の殺虫剤を塗布した際は、塗布面を徘徊し数時間で死亡すること(殺虫効果)を確認しました。一方、界面活性剤を主成分としたクリアフォーマーを塗布した面には、侵入しないことを確認し

ました。主成分である界面活性剤のみを塗布した際も同様の結果が得られました。これらの結果から、クリアフォーマーには、行動を阻害する効果(屋内への侵入を阻止)があると考えられます。

## アース環境

総合環境衛生管理で  
社会に貢献します

無断複写・複製はご遠慮下さい。  
本件に関するお問い合わせは、  
03-3253-0640  
ホームページもご覧ください  
<http://www.earth-kankyo.co.jp/>

## カベアナタカラダニの効果的防除

現場ごとに立地条件や建屋条件などが異なるため、今回の実験で確認できた殺虫や行動阻害の効果も現場ごとに異なる場合が多分にあると考えられますが、産卵前の春先に、屋外での徘徊を発見し次第殺虫することで、次世代の発生を阻害し、クリアフォーマーの行動阻害効果を利用して侵入を阻止することは、カベアナタカラダニの防除に有効な手段となります。

カベアナタカラダニについては、まだよく分かっていないことも多くあります。弊社では引き続き生態や防除に関する研究を進め、皆様のお役に立てる情報を発信してまいります。

環境ドクターが  
現場ごとに  
最適なプランを  
ご提案します

